

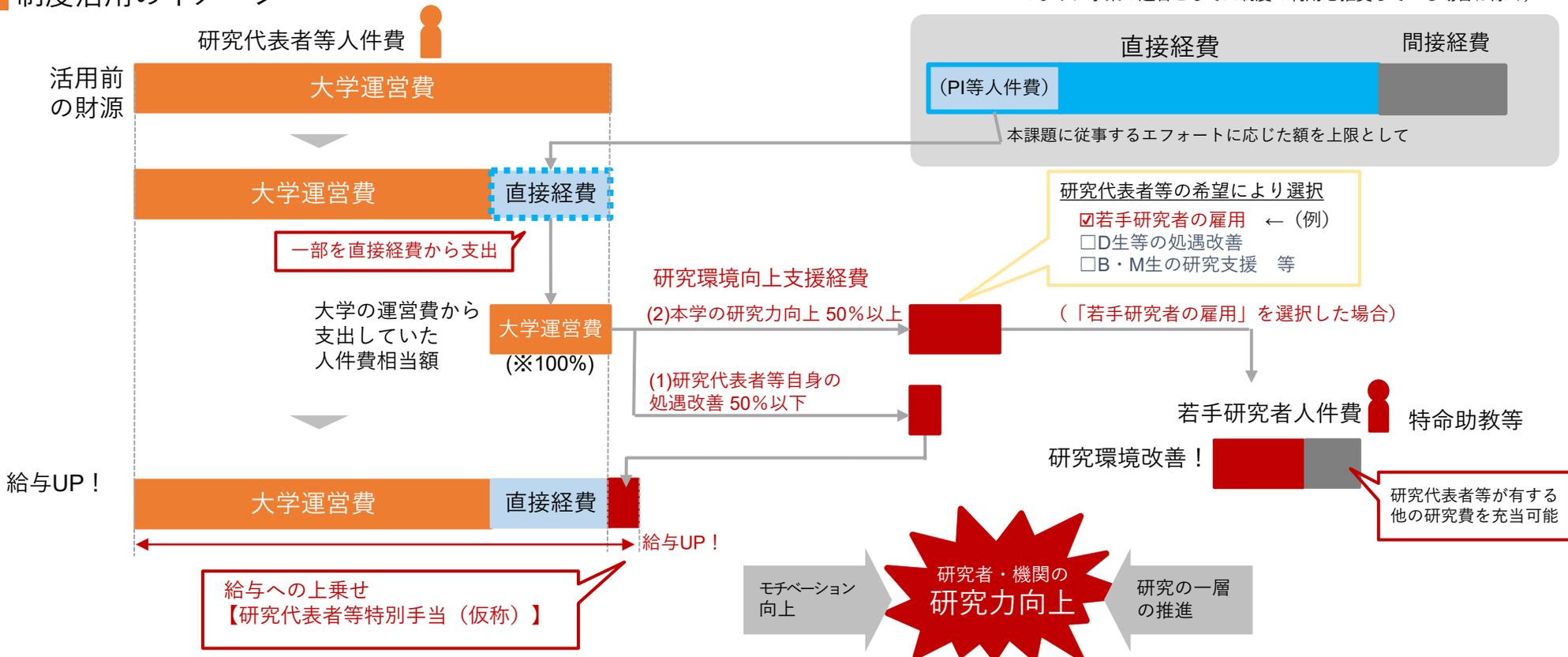
## 制度の趣旨

- 研究代表者等本人の**人件費**を、エフォートに応じ競争的研究費の直接経費から支出可能に
- 従来、大学の運営費から支出していた人件費相当額を、**研究環境向上支援経費**として活用
  - (1) 研究代表者自身の処遇改善（給与への**上乘せ**）
  - (2) 本学の研究力向上（**若手研究者雇用**など）

## 対象となる主な競争的研究費制度の例（科研費は適用外）

機関	制度名	機関	制度名
JST	創発的研究支援事業	JST	ムーンショット型研究開発事業
JST	戦略的創造研究推進事業（CREST等）	NEDO	事業全般
JST	研究成果展開事業	AMED	革新的先端研究開発支援事業
JST	未来社会創造事業	AMED	次世代がん医療加速化研究事業

## 制度活用のイメージ



## 具体的な活用例

年間給与1,000万円の研究代表者が、直接経費1,500万円、エフォート20%の競争的研究費を獲得した場合  
 ⇒ 年間200万円 (年間給与1,000万円×エフォート20%) を上限に、競争的研究費から研究代表者の人件費の支出が可能。  
 ⇒ 研究代表者の給与として支出していた大学の運営費200万円を機能強化 (研究環境向上支援経費) に活用。

### 従来

直接経費 1,500万円  
 PI給与 1,000万円

### 活用後

直接経費 1,300万円  
 PI給与 200万円 800万円  
 200万円

競争的研究費直接経費  
 大学運営費

### 研究環境向上支援経費

「研究環境向上支援経費」の用途は、研究代表者が主体的に決めることが可能

#### ✓ 研究環境向上支援経費の割合

給与水準の向上	0% (0円) ~50% (100万円)
研究力向上	50% (100万円) ~100% (200万円)

#### ✓ 制度の利用の有無

制度を利用すると、研究のために使用する物品費や旅費について、人件費に支出した分減少する。制度の利用により、研究の遂行に悪影響があると判断する場合は、利用しないことも可能。

### 自身の給与水準向上に

研究環境向上支援経費200万円を…	
100万円	給与水準の向上
100万円	研究力向上

### 若手研究者雇用に

研究環境向上支援経費200万円を…	
0円	給与水準の向上
200万円	研究力向上

直接経費 1,300万円  
 PI給与 200万円 800万円 100万円  
 研究力向上 100万円  
 研究代表者等特別手当 (仮称) として支給

不足分は、用途の制限のない他の資金を合算可能

直接経費 1,300万円  
 PI給与 200万円 800万円  
 研究力向上 200万円  
 不足分は、用途の制限のない他の資金を合算可能

※研究力向上の経費は、若手研究者雇用、博士課程学生の処遇改善、学生の研究支援等として使用可能。